

【別表7 臨床試験・治験に関する情報提供への希望(抜粋)】

10. 「臨床試験・治験に関わる情報」について、誰からどんな内容がどのように提供されると良いと思いますか。

「誰から」は、公共機関・医療従事者・かかりつけ医・第三者・マスコミ・有名サイト・有名人を挙げる人が多かった。「どんな内容が」は、実施内容・副作用などリスク・結果・体験談を挙げる人が多かった。「どのように」は、わかりやすく・目につきやすいようにを挙げる人が多かった。

以下に代表例を挙げる。

健康診断の結果の説明を受けたり、病院にかかった時に、医師から、「こういった症状・病状について」「現在、こういった臨床試験・治験を行う予定があり」「あなたのような方を治験者として募集している」「その治験でおこり得る副作用などの可能性、割合」を説明していただだけ、かつ、かかりつけ医が相談・サポートして下さると、安心して参加しやすい。	女	39歳	
臨床試験などを行っている病院は、外来の患者さんにもよくわかるように、大きな文字で掲示するなど、アピールしてほしい。また、将来どのような病気が治療できるようになるのか期待を持たせてくれるような情報はどんどん掲示してほしい。テレビなどでの情報番組などを利用するのもいいと思う。	女	44歳	
公的機関のみだけでなく、マスメディアなども利用した幅広い範囲の発信。公的機関に限るならば、過剰でない程度に受け止めやすく理解しやすい内容で構成し、また、その解説部分が気付かれるように分かりやすい誘導をする(隅に小さなアクセスポイントを置いてあまり気付かない)。	男	33歳	
思い出してみると、去年か今年、高血圧の薬の被験者募集の広告を新聞で見たように思うのだが、それが実ったのかどうかわからないままなのに気づいた。とは言え、どうしても知りたいわけでもない。ただやはり、健康被害が出たかどうかは監督官庁から提供してほしい。	女	54歳	C型肝炎
医者や看護師からどのような病気を治すためにするのか、そして副作用があるのかある場合はどんなものかを提供する。 実際に臨床試験・治験を行った人やそのような人をバックアップする人(いれば)から何か不都合はないか、あるならどのようなことかを提供する。	男	31歳	
提供場:yahoo等の健康に関する情報ページ((厚生労働省や病院のHPなどはないと思う。ただし、監修は公的機関で実施。) 内容:専門用語はあまり使わずに多くの人が理解できるような工夫。新薬等の効果、メリット・デメリット、治験の事例等	男	38歳	
試験・治験を実施する事業者や団体が直接、インターネットのサイトを通して、実験等の手順を具体的及び簡単明瞭に提供すればいいと思います。 また、経験者のレビュー欄(後日サイトに直接書き込める形式)もあるとなおいいです。	男	37歳	盲腸
よくポスターを見かけるが、「興味のある人はご連絡ください」とあり、敷居が高い。「興味がある人は以下のホームページをご覧ください」など、人と接触することなく情報を得て、参加したい場合のみ接触するようにしたらよい。	女	31歳	
サイエンスコミュニケーターを媒介とし、実験主催側と第三者専門家が共同して、試験に関する評価を受け取り手のレベルに応じて様々な形で(専門的な解説から、十分に噛み砕いたレベルまで)発信できれば理想的だと思う。	男	28歳	
実際にそれに関わる医師や薬剤師、病院関係者によってきちんと臨床試験・治験の目的、効果、万一の時の補償等が提供されればいいと思う。また、その臨床試験・治験の責任者、責任の所在を明確に示して欲しい。	女	34歳	
実際に治験にかかわる医療従事者から正しい情報が発信されるべきであるが、製薬会社の業績にかかわるので、その疾患の権威の医師や病院にポスターなどで告知すると関心のある人に伝わりやすい	女	54歳	
数ヶ月前に日本眼科学会主催の白内障のセミナーに参加した。専門の3人の医師がそれぞれの立場から素人にわかりやすく説明して下さった。このようなセミナーは有効であり、信頼できる。	女	62歳	白内障、 膝の半月板損傷

【別表7(続き) 臨床試験・治験に関する情報提供への希望(抜粋)】

パンフレットや冊子にまとめて、手軽に手にできるよう駅、病院、役所、スーパーなど公共の場所に置くと良いと思う。Q&Aのスタイルで国民が抱きやすい疑問も取り上げると良いと思う。	女	57歳	
第三者機関からの提供(行政や病院・研究所は利害関係者の意向が働きやすいので・・・)。何の病気に有効か、今までの薬とどこが違うのか(副作用を含む)。費用・期間。治験結果など	男	43歳	
実際の臨床試験や治験の内容が分かるような医師からの説明がインターネット等で紹介されると良いと思う。体験談なども具体的にどのようなものをイメージしやすいと思います。	男	44歳	
1. 製薬会社(製造元)から、インターネットなど誰もがいつでも閲覧出来る仕組みがあるとよい。 2. 第三者機関(信頼のある著名なところ)による評価レポートを公開する など	男	48歳	
薬のメーカー、役所、消費者センター(?)など複数のところからいろいろな切り口で情報が欲しいです。その主体のサイトだけではなく、ツイッターとかからわかると面白いかも。	女	43歳	
治験を職業にしているような方もあまり良い感じがしない。必要な人が必要に応じて受けられ効果が出るのが望ましい。医者や医療従事者が患者などにアピールしてほしい	女	68歳	
公的機関から臨床試験・治験の経験者の体験談を、各病院にパンフレットやチラシとして配布する。市町村の広報誌に臨床試験や治験の情報(病名・治験内容等)を載せる。	女	40歳	
専門の医師から、どのような目的か、行った(受けた)結果で想定出来る症状や副作用(出来ればほぼ確立的にゼロと言い切れるもの以外すべて)を提示してほしい。	男	50歳	
求人広告のようにパソコンでログインすれば、場所、期間、検査内容、副作用、報酬が閲覧できて、その場で申し込めると時間を気にせずいつでも確認できてうれしい	女	39歳	
専門家が普通の人にも分かりやすく、利点と副作用があるかないかなど、詳しく説明してもらいたい。人体実験ならば、尚更怖いとか危険なイメージしかありません。	女	41歳	
ネットで調べるときに、臨床試験や治験内容の一部の言葉をいれ検索すると、それをした経験者の感想がまとめて出て、こちら側から見れるようになると思う	女	29歳	心室性期外収縮 心室中隔欠損症
友人からの紹介やかかりつけ医からの紹介など、信頼できる人からの紹介。またはインターネットでの公募(協力費などの報酬の上に成り立つ、割り切った契約)	男	28歳	
病院の医師から、内容、安全性、リスクを明確に説明してもらえれば良いと思う。性格的に、プロとしての医師の言葉は無条件に受け入れてしまう方なので。	女	71歳	皮膚癌
信頼できて親しみのあるタイプの人から難しくなく説明されたら、受け入れやすいと思う。もしくは芸人さんに実際に体験してもらって、その様子を見たい。	女	34歳	
病院にかかっている場合はその病院で行われていない場合でも、症例に合った治験などを募集している病院を紹介してもらえるように情報を共有してほしい。	女	48歳	
大学の医学部の文化祭で、そのようなことについてのコーナーを見たような気がします。今思い出しました。あまり目立たなかったのが残念に思われます。	女	71歳	虫垂炎
治験の実施場所、どういふことに効くのか、対象者が治験の情報を一元的に管理できる人から、インターネットサイトで提供されるとよいと思う。	男	28歳	
病院の待合室が一番 時間を費やす場所なのでパンフレットやポスターを置くだけでなく実際に説明したり相談できる人がいればいいと思う	男	40歳	

【別表7(続き) 臨床試験・治験に関する情報提供への希望(抜粋)】

もちろん専門医からきちんとした説明を受けるのだと思います 治験者にも大なり小なり不安があると思うので前例等の説明も必要だと思います	女	64歳	
地域の医師会から、行われる医療施設名、方法、目的など詳しい説明がなされるとよい。具体的には、かかりつけ医から聞くのが安心できる。	女	62歳	
成功例だけでなく、危険も教えて欲しい。誰から? 思いつきません。医者 of 言うことを、どこまで信じていいのか、よく、分からないので。	女	42歳	胃がん
情報公開は必ずすることを公の場で約束したうえで、厚生労働省が細かく、誰でも閲覧できるように、サイトを作ればいいんじゃないかな	女	43歳	
特定の治験での随時報告を医者側、患者側がお互い書き込めるサイトを作り、一定条件のもと(罹患者や家族、医療従事者対象)公開する。	女	53歳	
リスクに関しては直接利益関係にない第三者機関の情報が欲しいが、実際に使用している医療関係者と体験者からの経過報告も知りたい。	男	44歳	
厚労省が新薬品などの開発でテストが必要なとき、どのような治療に必要な薬品の開発で、リスクにどのような事あるかを明確に発表する	男	54歳	
製薬会社を中心に国や医療機関に対して提供されていると思われるので、実際の治療を受ける人たちに詳細に開示されると良いと思う。	男	48歳	クローン病
国や製薬会社、病院などのホームページや、そこに情報が載っていることを知らせるために、yahooなどのトップに情報を載せる。	女	38歳	
臨床試験を進めている事業団、医療関係部門からの情報。過去の臨床試験から結果どのような病気に対して医療が進んだかを知りたい。	男	62歳	
実際に試験や治験をやっているところからの情報が一番正しいのでは? 政府などが絡むと本当のことを言っているかわからないから。	女	41歳	
大学病院などが情報掲示板を用意して常に最新情報をアップロードしておき、一般人でもいつでもアクセスできるようにしておく。	女	49歳	
かかっている医師から情報をもらえるのがベストだが、公的機関がリストを作ってネットに出してくれていると調べやすいと思う。	女	53歳	
雑誌でアルバイトが紹介されるように、公式的なところが情報を発信、紹介する形式があればわかりやすく信頼しやすいと思う。	女	36歳	
医者、薬剤師、研究機関から、できるだけ詳しく。今までの研究のデータや、1%でも予想される薬の効能と副作用をすべて。	女	27歳	
医師から直接提供されることがBESTだが、それも状況次第だと思うのでインターネットや専用の検索端末などが便利だと思う	女	27歳	
末期がんを代表とする難病で苦しんでいる人に担当医からリスクも含めた臨床試験や治験の情報がきちんと伝わって欲しいです。	男	44歳	
同じ臨床試験・治験を受けている患者やその家族の意見。マニュアル化されている言葉でなく、ドクターの率直な意見と説明。	男	38歳	

【別表7(続き) 臨床試験・治験に関する情報提供への希望(抜粋)】

実際に治療を受けている段階で、担当の医師から、具体的な試験内容やメリット・デメリットなどを説明されるのが良いと思う	女	38歳	
かかりつけの医師から、臨床試験・治験についてその目的とするところや、安全性・リスクなどについての説明があるとよい。	男	65歳	
その病気に関心のある人には、メディアを通じて、本人が病気にかかっていたら、医師から、具体的な話を聞きたいと思う	女	44歳	
医者から、その薬や治療方法が効くという理由(仮説)を論理的(理にかなった)説明されると。かなり納得できると思う。	男	45歳	
各方面から自由に取得可能になり、実際に自身になればより詳しく、担当医と研究機関より説明を受ける状況になればよい。	男	45歳	
かかりつけの医師や薬剤師など、病気や薬に詳しい人からの情報提供が一番抵抗がなく受け入れられるような気がします。	女	38歳	
テレビなどで、普段私達がよく見かけるお医者さんとか、有名なお医者さんからテレビを通じて詳しく説明してほしい。	女	74歳	子宮筋腫
名前だけが有名で内容が分からないのでどのような試験なのかもっと具体的に動画や写真を使って提示すれば良いと思う。	男	26歳	
インターネット 気が向いたときに 自分のかかりつけ医で出来るのが一番 別の時間は取れそうにないから・・・	女	63歳	糖尿病
信頼できる医師から直接聞いたり、テレビで知っている専門分野の人が直接話す事を聞いたら耳を傾けるかも知れません。	女	61歳	
臨床試験・治験を行う主体者から具体的にどのようなことを行うのかという情報がネット等を通じて提供されると良い。	男	51歳	慢性腎不全、心筋梗塞
かかりつけの医者からジェネリック薬品の説明をするのと同様に、治験についても広めていけばよいのではないだろうか	男	30歳	
治験はホームレスの人などがよく受けると聞いたことがあります？ 医者から治療中の患者さんへの提供がよいのでは？	女	61歳	乳がん
国さえも信用できない状態なので、役所や製薬会社とは全く利害関係のない第三者機関があると相談しやすいと思う。	女	44歳	
具体例を思いつかないが、説明を受ける側の知識やモラルに応じて説明手法や深度を変えることが重要と思われる。	男	53歳	
被験者、治験者の体験談、わかりやすく説明された学会からのデータ、第三者の立場からの説明(副作用、リスク)	女	46歳	急性膵炎

【別表8 第二研究における回答者の人口統計学的情報】

▼回答者の属性

(1)性・年代:

	男	女	計	男	女	計
20代	47	45	92	9.4%	9.0%	18.4%
30代	59	58	117	11.8%	11.6%	23.4%
40代	57	56	113	11.4%	11.2%	22.6%
50代	49	43	92	9.8%	8.6%	18.4%
60代	28	23	51	5.6%	4.6%	10.2%
70代以上	20	15	35	4.0%	3.0%	7.0%
計	260	240	500	52.0%	48.0%	100.0%

(2)居住地:

北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬
6.4%	1.2%	1.0%	2.0%	0.6%	0.2%	0.4%	1.0%	1.8%	1.4%
埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野
6.8%	3.8%	16.4%	9.2%	1.0%	0.4%	1.0%	0.8%	0.0%	1.4%
岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
0.6%	1.8%	6.2%	2.0%	0.6%	2.0%	7.4%	5.0%	1.8%	0.6%
鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡
0.8%	0.6%	1.2%	1.2%	1.6%	0.2%	1.0%	0.6%	0.4%	2.8%
佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄			
0.2%	1.4%	0.8%	1.6%	0.2%	0.0%	0.6%			

【別表8(続き) 第二研究における回答者の人口統計学的情報】

▼回答者の属性 (つづき)

(3)職業:

			国民分布
医療従事者	43	8.6%	3%
会社員(医療従事者を除く)	168	33.6%	29%
公務員(医療従事者を除く)	27	5.4%	4%
自営業(医療従事者を除く)	36	7.2%	12%
パート・アルバイト(医療従事者を除く)	65	13.0%	13%
専業主婦	71	14.2%	18%
学生	22	4.4%	2%
無職	43	8.6%	13%
その他	25	5.0%	6%
計	500	100.0%	100%

(4) “大きな病気(入院や手術をするような病気)”をした経験:

過去にあった	132	26.4%
今もある	26	5.2%
ない	342	68.4%
計	500	100.0%

(5) 家族や身近な人が“大きな病気”をした経験:

過去にあった	190	38.0%
今もある	42	8.4%
ない	268	53.6%
計	500	100.0%

(6) 「臨床試験・治験」への参加経験:

参加したことがある	51	10.2%
自分が参加したことはないが、家族が参加したことがある	12	2.4%
自分が参加したことはないが、家族以外の友人・知人が参加したことがある	40	8.0%
ない	397	79.4%
計	500	100.0%

【別表9 臨床研究・臨床試験・治験に関する知識】

～臨床試験・治験に関する知識の状況～

1. 臨床研究、臨床試験、治験について知っていることがあれば、自由に書いてください。

臨床研究・臨床試験・治験について知っていること	年齢	性	職業	本人の大きな病気の経験	家族の大きな病気の経験	臨床試験・治験への参加経験
緑内障の治験に参加したが、私自身が緑内障がみつき、治験は出来なかったが、見つけてもらって感謝している。高齢だが健康でいるので、治験等で何かに協力したいと思っているが、どこにそれをいえば良いか解らない。	73歳	女性	無職			本人が経験
新薬の有効性を確認するために行う。対象の疾患を持つ人に有効成分の入った薬と入っていないプラセボを渡すチームにわけて、有効性を確認する。治験者本人は自分の渡された薬がどちらかはわからない。	43歳	女性	パート・アルバイト			
新薬の開発は治療に光明をもたらす大切な試験ですが、治験に参加し貢献したいと考えているのですが、持病があると対象にならないようです。何らかの形で参加したいと考えています。	59歳	男性	無職	硝子体手術		
うつ病の薬に関するチラシをみた事がある。皮膚科でアトピーに関する貼り紙を見た事がある。テレビで何泊かして決められた生活をしてどういう変化が起きるかなどをやっているのをみた。	29歳	女性	パート・アルバイト		脳梗塞 脳出血	
自分がどんな臨床研究などに貢献できるのか、接点がないのでわからない。かかりつけ医や人間ドック・健康診断で受診した際にそういった情報をいただくと参加しようと思っている。	39歳	女性	会社員			
保険外診療で、できることもあるが、特定の検査に合致しなければ、受けられないこともある。癌などの新薬を試したい人がたくさんいるので、希望者にはもっと手軽に試させてほしい。	56歳	女性	会社員	乳がん、帝王切開	メラノーマ	友人が経験
フェーズ4までであること。チラシや新聞広告で被験者の呼びかけを行っているのを目にしたことがある。副作用や有害事象が存在する。被験者は、謝礼金をもらえるものもある。	36歳	女性	医療従事者			
新薬開発のため薬の安全性や有効性を調べるために行われるものであり、無作為に抽出し、その薬を投与しながらデータを得る。専門家の元で行うため、安心して受けられる。	32歳	女性	公務員			
新薬や医療機器、治療方法の研究開発に使われる。結果に基づき、研究発表や国の承認や医療行政への反映などが行われる。動物実験でなく、人による試験である。	31歳	男性	会社員		腎臓腎炎	
山中教授の話題で臨床研究の重要性がクローズアップされていますが高齢化社会にとって大変重要な役割を果たすので、関係者に今後とも頑張ってもらいたいと思います。	72歳	男性	その他	結核性関節炎(誤診で入院)	糖尿病	
研究の結果を確かめるための人体実験。役に立つと思うしかなりよりアルバイトになると聞いたことがある。応募しても新薬の対象にならないこともある。	58歳	女性	自営業			
差し迫って、とりあえず症状をおさえたくても、治験から、保険適用までの期間が、長すぎるので、もっとはやく、使えるようにしてほしいです。	57歳	女性	無職	潰瘍性大腸炎	肝がん	
治験サイトに登録して、自分が対象だと思われるアンケートに回答するとサイト運営者から連絡があり、条件があれば治験に参加できる	50歳	女性	専業主婦	喘息		
自分の症状と治験での参加によって改善される期待があれば参加したい。仕事をしていると通院できる時間が作れないので無職でないとしんどい	48歳	女性	公務員	子宮筋腫全摘	直腸癌・脳溢血	本人が経験
新薬が開発されると、病気に効果があるか、人体に影響はないかなどを調べる為、その病気にかかっている人を対象に検査、実験をする	53歳	女性	パート・アルバイト			
バイト料は良いが、拘束時間が長かったり、普通の生活を送っている人は参加しにくい。大学生のバイトのイメージ。	29歳	女性	会社員		胃がん	
治験の場合 本当の治療対象となる場合と対象として実際には治療を受けていない場合がある？ 本人は知らない？	70歳	女性	専業主婦	子宮筋腫		

【別表9(続き) 臨床研究・臨床試験・治験に関する知識】

臨床研究・臨床試験・治験について知っていること	年齢	性	職業	本人の大きな病気の経験	家族の大きな病気の経験	臨床試験・治験への参加経験
治験について→メリット・デメリットを把握した上で、新薬の効果や副作用などを調査するものと認識している。	39歳	男性	自営業		B型肝炎(のちに肝硬変)	
通院式であっても、平日日中のみしかできないものがあるので、土日でも可能であれば参加しやすいと思います。	47歳	男性	公務員			本人が経験
ある病気、症状に対応する手段を多方面から追求して、私たちににとって良い方向に向かわせる技術開発の様な事?	45歳	男性	自営業	咽頭炎	狭心症	
治験モニター登録はしているが 機会がなく実際に協力したことがない。条件が合えばぜひ参加してみたい。	42歳	女性	パート・アルバイト			
以前薬の治験に参加したことがあります。副作用は特にありませんでしたが、定期的な採血が嫌でした。	29歳	男性	会社員			本人が経験
治験は申し込んで対象になったことがあるが、決まった時点で都合がつかなくなり辞退したことがある。	52歳	男性	会社員		脳梗塞	
治験アルバイトの情報を見かけたことがある。副作用などが出ることがないわけではないと聞いた。	23歳	男性	学生		胃癌、胆管癌	
世の中に出す前の開発した薬品を条件の合う人に対し使用してもらい、効果などその後の経過を少佐する	29歳	女性	パート・アルバイト			友人が経験
これまで実際に接した経験はないが、重い病になった場合は被験者になっても良いと常々考えている。	71歳	女性	その他	皮膚癌	胃癌	
新薬開発に向け、安全性が確認できている新薬を実際に使用してデータをとり効果を確認する。	63歳	男性	パート・アルバイト			
自分が難病でその研究のために病院、大学等に協力して献体する。新薬の研究に協力する。	76歳	男性	無職	椎間板ヘルニア	胃がん	
治験の存在は知識として、また、新聞広告で見かけたりで認知していますが、詳しくは知らない	54歳	男性	会社員			
実際参加できるようなことがあれば、やってみたいが、今のところ健康なので機会が無い。	47歳	女性	その他			
参加回数か月間は他の治験に参加できない。期間中、サプリメント等摂ってはいけない。	50歳	女性	パート・アルバイト		心筋梗塞	本人が経験
本物の薬と、偽の薬を投与される。どちらになるかは、本人も担当医も知らされない。	70歳	男性	無職	前立腺癌	胃癌	
治験で処方される薬は100%実験したいその物ではないという事を最近知りました。	68歳	女性	専業主婦	大腸がん		友人が経験
新薬開発時に副作用・容量を見極めるのに治験参加者に試してもらってデータ収集する	52歳	女性	その他			本人が経験
定期通院している病院から勧められたことがある。要は人間モルモットだと思った。	56歳	男性	会社員	糖尿病		
薬品などが公に販売される前に、実際のデータを取り、販売の可否を判断する材料。	62歳	女性	公務員		白内障、膝半月板損傷	
承認前の薬を患者等の一般の人に投与して安全かどうか、効果を検査・調査するもの	28歳	女性	その他		膠原病、肺癌	
基礎研究をしている人から、臨床試験をする医者との橋渡しが難しいと聞いた	35歳	女性	会社員	虫垂炎	肝硬変 糖尿病 橋本病	
時間があれば、高額な治験に参加したいが、なかなか時間が合わず断念している	48歳	男性	自営業	骨折による入院	がん	
見聞きはするが、実際に体験したことがあるわけではないのでよく知らない。	28歳	男性	会社員			
やはり、怖いと言う印象があります。アレルギーなどが出た時が怖いです。	74歳	女性	専業主婦			

【別表9(続き) 臨床研究・臨床試験・治験に関する知識】

臨床研究・臨床試験・治験について知っていること	年齢	性	職業	本人の大きな病気の経験	家族の大きな病気の経験	臨床試験・治験への参加経験
以前臨床研究に携わったことがあるのでどこまで書いてよいのかわからない	58歳	男性	医療従事者		子宮頸癌	本人が経験
厚生労働省の対応が事なかれ主義だから、認可までに時間がかかりすぎる。	61歳	男性	自営業	胃穿孔		
VOBIに登録したが名古屋があまりにないので不満。東京と大阪が多い。	42歳	男性	会社員			
臨床試験は大切。治験も必要な人には役立ちがプラセボになるとつらい	68歳	女性	専業主婦			
報酬がもらえる代わりに自分の体の健康が損なわれる可能性がある。	28歳	女性	会社員		乳がん	友人が経験
近未来の医療に役立てるのだから、恐れずに治験に協力すると良い	71歳	男性	自営業	腎臓結石		本人が経験
新規薬剤の承認、適応症の拡大の目的で認可前の段階で行う試験。	43歳	男性	医療従事者			
数年前までは、新聞広告を使い被験者を募集するところが多かった。	51歳	男性	会社員		肝臓がん	
入院中にドクターから勧められて治験をしたので、特にありません	36歳	女性	パート・アルバイト	癌		本人が経験
新しいお薬を開発する途中で、問題ないか健常者で一定期間試す。	47歳	女性	専業主婦			
動物実験などが済んだ薬などを実際に人間に投与して効果を見る	31歳	女性	会社員			
参加する事によって、謝礼がもらえる場合もあるそうですね。	30歳	男性	自営業			
投薬がある場合には必ず絶対安静でひたすらヒマだったらいい	37歳	女性	会社員			友人が経験
新薬のデータ採りの為の、ボランティア的な行為(報酬アリ)	51歳	男性	会社員		肺がん(2名)	
新薬の開発に際して、薬が有効に作用するかなどを試験する。	29歳	女性	会社員			
診療所などの壁に特定の病気の新しい薬の治験者募集を見ます	39歳	男性	会社員			
動物実験などを経ており、ほとんど問題は無い場合が多い。	26歳	男性	公務員			
指定の病院へ定期的に通院しないといけない。費用が無料。	45歳	女性	会社員	帯状疱疹、 尿路結石、 突発性難聴	急性骨髄性白血病	
自分の体を差し出せる状況にないと難しい選択だということ	36歳	女性	医療従事者		腎不全 脳梗塞	
事前に検診を受けてから該当者に臨床試験が紹介される。	51歳	女性	パート・アルバイト		白血病	
常に新情報を知る為ネットでのチェックを欠かしません。	64歳	男性	無職	特定疾患	脳梗塞	
医学の進歩には必要なんだけど、ちょっとなる勇気は…。	70歳	男性	パート・アルバイト	副鼻腔炎		
臨床研究をクリアして、実際に治療に使われるようになる	38歳	男性	その他			

【別表9(続き) 臨床研究・臨床試験・治験に関する知識】

臨床研究・臨床試験・治験について知っていること	年齢	性	職業	本人の大きな病気の経験	家族の大きな病気の経験	臨床試験・治験への参加経験
友人が脳梗塞後の治療に新薬の治験対象となっている。	65歳	男性	無職	股関節置換手術	脳梗塞	友人が経験
世間に出る前の最終的な確認作業だと認識しています。	42歳	女性	医療従事者		リウマチ	
治験薬が無料提供でも医療費は保険診療外になるのかも	65歳	男性	無職	副鼻腔炎	胆嚢炎胆嚢摘出	友人が経験
倫理委員会を通してから行っている。謝金が高額。	23歳	女性	医療従事者			
新薬の最終検査として人間への適応を検証する試験。	67歳	女性	自営業			
将来の新薬作りの為に安全かどうか臨床試験をする。	32歳	女性	専業主婦			本人が経験
新薬の臨床開発に携わっているので良く知っている。	62歳	男性	会社員	白内障	胃癌手術	友人が経験
新しい薬剤が出たときに、その臨床効果を試すこと。	51歳	女性	会社員	がん	がん、脳梗塞	
新薬の治験のバイトは、短期間で数十万円もらえる。	42歳	女性	専業主婦	急性虫垂炎、帝王切開術、骨折手術	がん、糖尿病	
未承認薬を人に使用し、有効性、安全性を確認する。	34歳	男性	その他			
それらにより、新薬や治療法が開発、確立されていく	40歳	女性	医療従事者			
医療技術を進めるためには、なくてはならないもの。	37歳	男性	公務員			
名前が外国人なのでいつも門前払いを食らっている	49歳	女性	会社員		前立腺癌、心臓発作	本人が経験
数日間、かかる。 とまりこみになるものもある	29歳	男性	医療従事者			
薬が市販される前の実験。参加報酬がいただける。	24歳	男性	会社員	虫垂炎	白内障	友人が経験
CROに勤めているので、ほぼ全般は知っている。	29歳	男性	医療従事者		肺がん、子宮筋腫	本人が経験
医療の進歩・治療法・薬剤の開発にとっても重要。	37歳	男性	公務員	耳ろう孔		
病気を治すための新しい治療をためしていること	55歳	男性	公務員	ヘルニア	がん	
名前や仕組みは知っているが身近では無いもの。	35歳	男性	医療従事者			
治験のバイトのようなものがあり結構報酬が高い	22歳	男性	学生			本人が経験
それぞれ規制やガイドラインに従って実施される	35歳	女性	会社員			
治験に協力した人は、金銭がもらえると聞いた。	52歳	女性	医療従事者			
試薬を試す人と試薬を試さない人の両方がある	58歳	男性	その他	悪性リンパ腫	がん	
新薬開発の為、その症状がある人が試してみる	47歳	女性	専業主婦			
新薬が一般に使用されるまでに行われるもの。	54歳	女性	専業主婦			
VOBに登録していたが、やったことはない	46歳	男性	会社員			

【別表9(続き) 臨床研究・臨床試験・治験に関する知識】

臨床研究・臨床試験・治験について知っていること	年齢	性	職業	本人の大きな病気の経験	家族の大きな病気の経験	臨床試験・治験への参加経験
チラシで募集しているのを見たことがある。	43歳	女性	会社員	卵巣のう腫	脳出血	
治験者募集の折込チラシを見たことがある。	55歳	女性	専業主婦	アレルギ一性紫斑病、喘息、乳腺線維腺腫症	痔、真珠腫性中耳炎、顔面痙攣、急速進行性糸球体腎炎、前立腺肥大	
大学病院へ行くと待合ホールに掲示してある	45歳	男性	会社員	マイコプラズマ肺炎	脳梗塞	
報酬を受け、新薬の投与試験を受けること。	31歳	男性	会社員		がん	
承認されている薬より効き目が優れていた。	43歳	男性	会社員			家族が経験
新薬の効果の確認のために行う実験のこと。	29歳	男性	自営業			
最新の研究に触れられる、治験費がもらえる	27歳	女性	会社員			
新薬などの効果を調べるために、協力する。	71歳	男性	無職	甲状腺腫		
大変だけど、お金になるアルバイトがある。	20歳	女性	学生			
早く有効な薬を開発するために重要なもの	72歳	男性	会社員	胃潰瘍	脳出血	
新しい技術や薬の効果を実際に確認する。	35歳	男性	自営業			
新薬や新しい治療を、医師のもとで試す。	36歳	女性	専業主婦			
結果は必ず良い方向になるとは限らない。	29歳	女性	パート・アルバイト			家族が経験
新聞での内容のみで、詳しくは知らない	41歳	男性	会社員			
治験に協力することで報酬がもらえる。	43歳	女性	専業主婦	子宮筋腫	胃がん	
薬のせいで身体を壊したりした人がいる	40歳	女性	パート・アルバイト			
機会があれば、副業としてぜひ行いたい	44歳	男性	会社員	筋炎(ギランバレーが疑われた)		
治験に参加したい場合でも制限がある。	47歳	女性	パート・アルバイト	子宮頸がん	てんかん	
治験でお小遣い稼ぎをしている人がいる	35歳	女性	会社員		脳内出血	
認可前の薬が安全かどうか試験すること	30歳	男性	自営業			
日当が高いが安全に対する保障はない?	37歳	男性	パート・アルバイト			
治験-泊まりもあるし日帰りもある。	32歳	女性	会社員			
新薬開発の人体を使っての最終テスト	44歳	女性	専業主婦			

【別表9(続き) 臨床研究・臨床試験・治験に関する知識】

臨床研究・臨床試験・治験について知っていること	年齢	性	職業	本人の大きな病気の経験	家族の大きな病気の経験	臨床試験・治験への参加経験
一般人への治験は、安全性が高いこと	56歳	男性	会社員			
副作用などの危険性がありそうである	62歳	男性	会社員	大腸ポリープ	不整脈	友人が経験
簡単な治験と少し危険な治験がある。	31歳	男性	会社員			友人が経験
報酬がエリアに寄ってばらつきがある	24歳	男性	その他			本人が経験
治験をしている間はカードを渡される	29歳	女性	パート・アルバイト			本人が経験
B型キャリアを正しく扱っていない	49歳	女性	専業主婦	くも膜下出血		
お金をもらい、新しい薬などを試す	33歳	女性	自営業	高血圧症	悪性リンパ腫	友人が経験
友人が脳梗塞リハビリの治験を受けた	71歳	女性	無職	ネフローゼ		友人が経験
お金がかかる。時間がかかる。	62歳	男性	無職		膵臓癌	
新薬の体験実験のアルバイトがある	55歳	男性	会社員			
治験は基本的に男性、喫煙者不可。	52歳	女性	その他	扁桃腺	アルツハイマー症	
治験に参加するとお金がもらえる	51歳	女性	医療従事者			
新薬の承認のために必要なもの。	33歳	男性	自営業			
大学病院が実施していると思う。	73歳	男性	その他	前立腺がん		
手当が大きい。不安要素もある	22歳	男性	学生		がん	
治験に参加して協力がもらえる	53歳	男性	会社員			本人が経験
第一相、二相などの試験がある	43歳	男性	無職			本人が経験
割り賃の高いアルバイトの印象	27歳	男性	公務員			友人が経験
実験台になれば報酬がもらえる	28歳	女性	その他			
新薬の効果を測るための試験	50歳	男性	無職			
商品化する前の最終チェック	42歳	女性	医療従事者	子宮筋腫	脳梗塞	がん
興味があるが試験的でこわい	70歳	女性	専業主婦	子宮がん		
排尿障害等の通院による治験	76歳	男性	無職			
認証前の薬をテストされる。	35歳	男性	会社員	盲腸	糖尿病	
国の認可を受けた新薬を試す	21歳	女性	学生			
社会貢献できる気がする。	42歳	女性	専業主婦			本人が経験
薬の認可をとるために必要	51歳	男性	会社員	腎腫瘍	卵巣脳腫	
待機室に漫画が置いてある	34歳	男性	自営業	肺気胸	癌	
人体実験。近未来の医療	42歳	男性	会社員	腰椎椎間板ヘルニア	脳梗塞	本人が経験
泊まりや日帰りがあること	24歳	女性	専業主婦			
派遣会社が募集していた。	27歳	男性	会社員			
市販されていない薬の確認	25歳	男性	会社員			
泊まりがけ、謝礼が出る。	32歳	男性	無職			家族が経験
企業の研究開発に役立つ。	28歳	女性	パート・アルバイト		脳梗塞	本人が経験
臨床実験のバイト代は高い	21歳	女性	学生			友人が経験
健康を害する人もいる。	55歳	女性	パート・アルバイト	C型肝炎	馬尾神経腫瘍、胃がん、結核	
がんワクチンの臨床試験	34歳	男性	会社員			

【別表9(続き) 臨床研究・臨床試験・治験に関する知識】

臨床研究・臨床試験・治験について知っていること	年齢	性	職業	本人の大きな病気の経験	家族の大きな病気の経験	臨床試験・治験への参加経験
第1相～第4相まである	37歳	女性	医療従事者			
発売前の新薬の人体実験	37歳	女性	会社員			
新薬開発の際の人体実験	73歳	女性	専業主婦			
色々知っていると思う。	27歳	女性	医療従事者			
収入は高いが不安も高い	49歳	男性	会社員		大腸癌	友人が経験
高い、保険がきかない	29歳	女性	パート・アルバイト		癌	家族が経験
システムは知っている	46歳	女性	無職	胆石	脳梗塞	
認可前の薬で人体実験	38歳	男性	会社員	2型糖尿病		
世の中の役に立つこと	55歳	女性	パート・アルバイト			
薬の開発に欠かせない	43歳	女性	公務員		胃がん	
格安で検査が出来る。	52歳	女性	専業主婦		子宮筋腫	
興味は有るが特になし	20歳	女性	学生	肺炎、大腸サルモネラ菌繁殖	内蔵に膿みの溜まる病、胃癌、脳腫瘍、股関節骨折	
参加条件が厳しい。	32歳	女性	医療従事者			
将来の医学に役立つ	37歳	女性	パート・アルバイト			家族が経験
バイト代がもらえる	35歳	男性	会社員			本人が経験
病院で行うイメージ	33歳	女性	専業主婦			
意外と安全である。	21歳	女性	学生			本人が経験
薬の認可に役立つ	51歳	女性	パート・アルバイト			
治験の収入は良い	36歳	男性	公務員			
薬を飲ませられる	40歳	女性	専業主婦			
ねずみでまず実験	28歳	男性	医療従事者	骨折		
謝礼がもらえる	44歳	女性	会社員	腫瘍		
謝礼がもらえる	44歳	男性	会社員			本人が経験
献血などが大変	27歳	女性	パート・アルバイト		クモ膜下出血	友人が経験
安全性が高い。	34歳	女性	専業主婦	急性肝炎	がん	
お金がもらえる	38歳	男性	会社員			
時間がかかる。	49歳	男性	会社員	鎖骨粉碎骨折		
特にありません	25歳	男性	会社員	骨折		友人が経験
バイト代がいい	47歳	男性	自営業			本人が経験
バイト代が高額	37歳	女性	自営業			
不安。薬漬け	40歳	男性	公務員	精巣腫瘍	肝臓がん	
治療費が安い	35歳	女性	パート・アルバイト			
お金を貰える	47歳	男性	会社員		がん	
危険性は低い	31歳	女性	パート・アルバイト	動静脈奇形		

【別表9(続き) 臨床研究・臨床試験・治験に関する知識】

臨床研究・臨床試験・治験について知っていること	年齢	性	職業	本人の大きな病気の経験	家族の大きな病気の経験	臨床試験・治験への参加経験
ボランティア	33歳	男性	会社員		大腸腫瘍	本人が経験
報酬がいい	51歳	男性	会社員	肺胞出血	甲状腺がん	
給料が良い	33歳	女性	会社員			
時間が長い	43歳	男性	自営業	がん	大腸がん	家族が経験
報酬が高い	31歳	男性	会社員			
重要な研究	27歳	男性	学生	盲腸		本人が経験
新薬の開発	60歳	男性	自営業			
報酬がいい	28歳	男性	自営業			
報酬が高い	21歳	女性	学生			友人が経験
新薬の治験	59歳	女性	専業主婦		慢性骨髄白血病	
時給が良い	28歳	男性	会社員			友人が経験

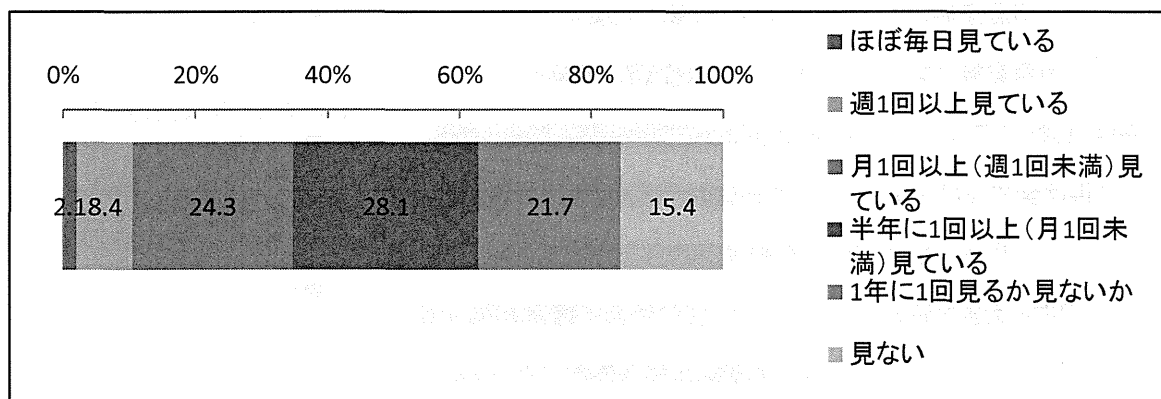
～インターネットでの病気や治療法に関する情報収集について～

1. どれくらいインターネットで「病気」「治療法」に関する情報を見ますか

インターネット利用者の4人に1人が月1回以上「病気」「治療法」に関する情報を見ていた。男性より女性の方が多い。年代別にはあまり差がなく、健康な割合が高い20代でも3割以上が月1回以上見ていた。自分や家族の「大きな病気」経験度の違いによって、情報収集頻度には差が見られた。「SNS利用者か否か」でも差が見られたが、これはインターネット利用頻度が高いために自然と(医療分野に限らず)情報接触頻度が高い可能性もある。

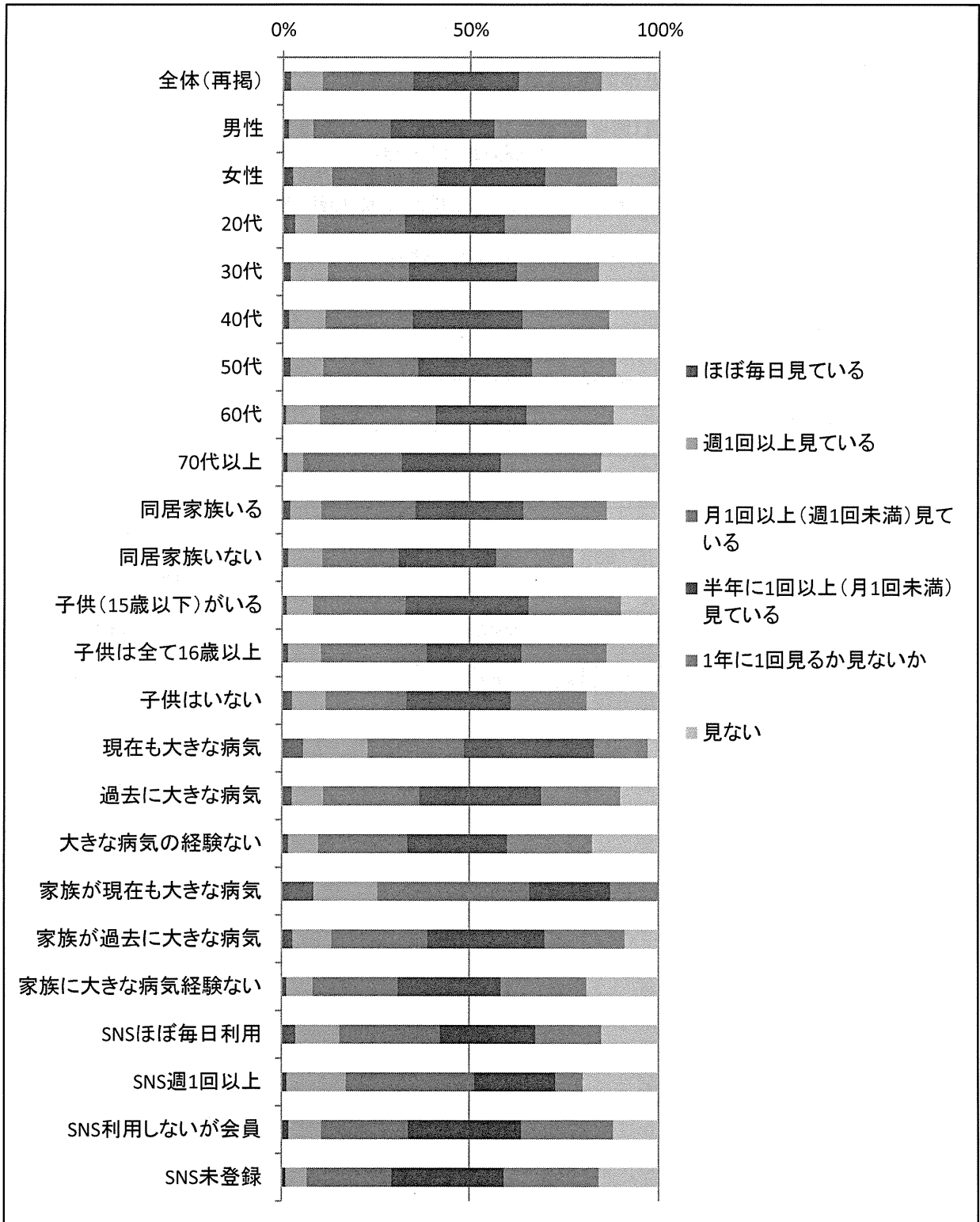
(以上の記載について、統計学的有意差の有無については未検討)

ほぼ毎日見ている	21	2.1%
週1回以上見ている	84	8.4%
月1回以上(週1回未満)見ている	243	24.3%
半年に1回以上(月1回未満)見ている	281	28.1%
1年に1回見るか見ないか	217	21.7%
見ない	154	15.4%
計	1,000	100.0%



【別図1 インターネットでの「病気」「治療法」に関する情報収集頻度(全体)】

1. どれくらいインターネットで「病気」「治療法」に関する情報を見ますか（詳細）

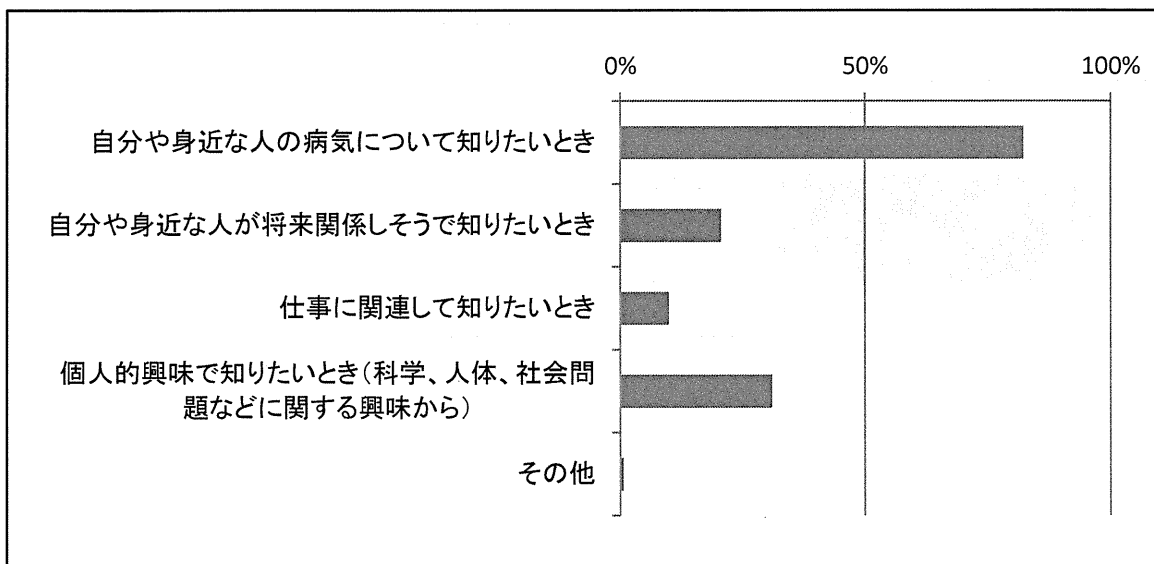


【別図2 インターネットでの「病気」「治療法」に関する情報収集頻度(属性別)】

2. どんな目的で、インターネットで「病気」「治療法」に関する情報を見ますか（複数選択）

「自身や近親者の病気について知りたい時」が多い。

自分や身近な人の病気について知りたいとき	696	82.3%
自分や身近な人が将来関係しそうで知りたいとき	175	20.7%
仕事に関連して知りたいとき	85	10.0%
個人的興味で知りたいとき(科学、人体、社会問題などに関する興味から)	263	31.1%
その他	6	0.7%
計	846	144.8%



【別図3 インターネットでの「病気」「治療法」に関する情報収集の目的】

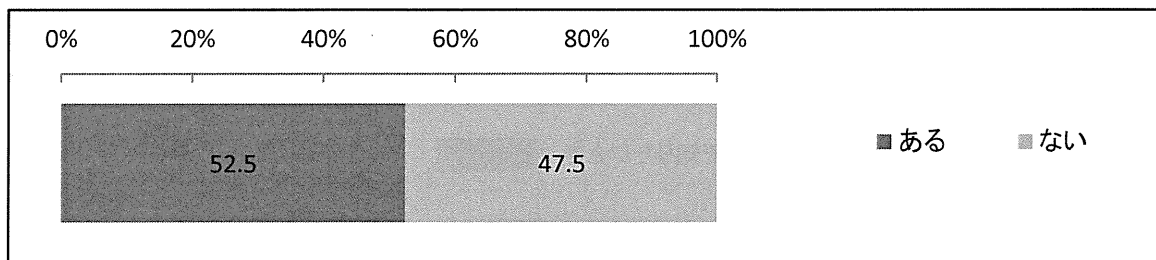
3. インターネットから得た「病気」「治療法」に関する情報を、他の人に教えたことがありますか

注:「インターネットで病気・治療法情報を見ない人」は非回答

インターネットで得た情報を、自身で活用するだけでなく他の人に伝えたことがある人は、約半数であった。女性の方が比率は高い(57%)。家族の「大きな病気」経験度との関連が見られたが、自身の「大きな病気」経験度による違いは見られなかった。

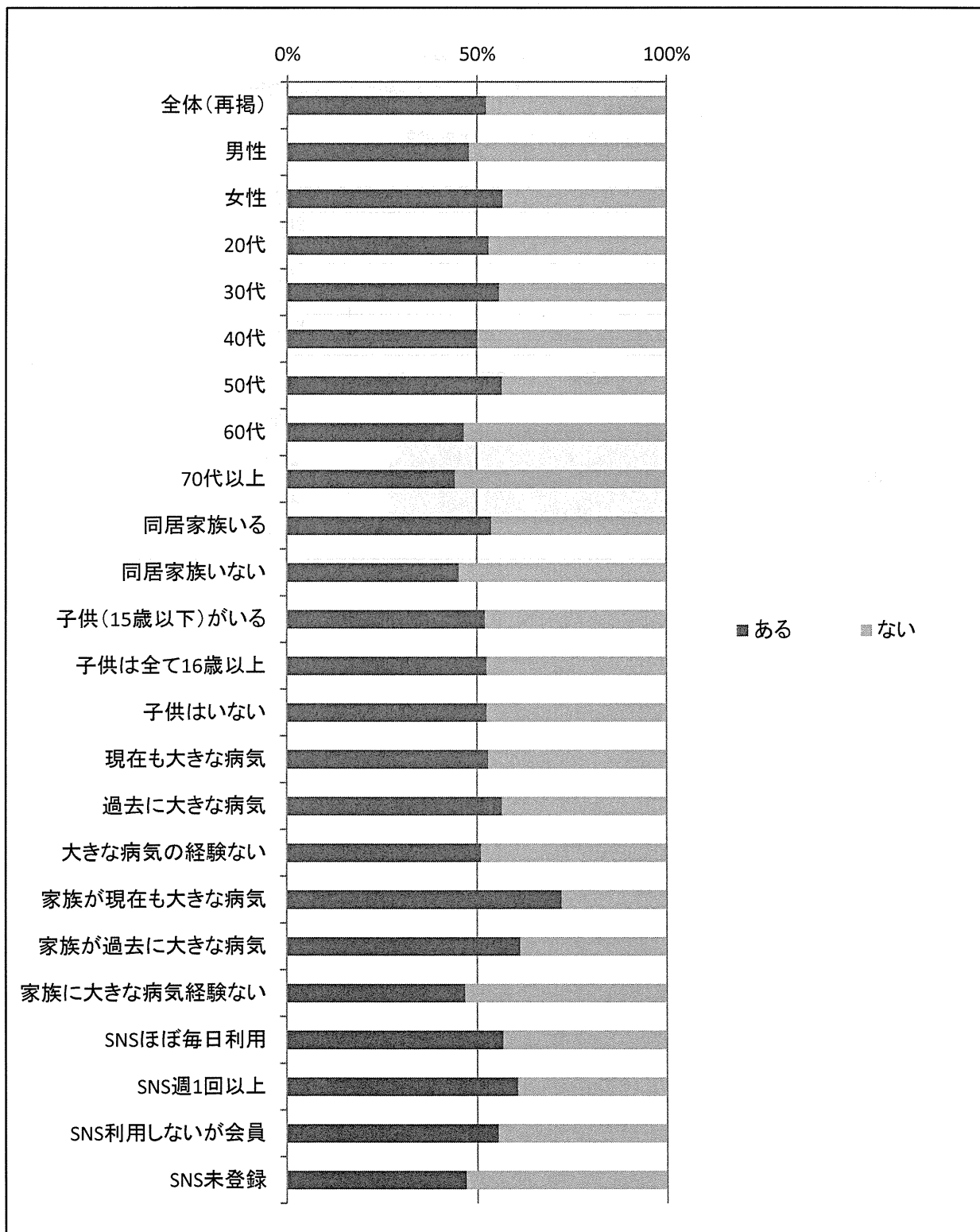
(以上の記載について、統計学的有意差の有無については未検討)

ある	444	52.5%
ない	402	47.5%
計	846	100.0%



【別図4 インターネットでの「病気」「治療法」に関する情報収集結果の共有状況(全体)】

3. インターネットから得た「病気」「治療法」に関する情報を、他の人に教えたことがありますか（詳細）



【別図5 インターネットでの「病気」「治療法」に関する情報収集結果の共有状況(属性別)】

4. インターネットから「病気」「治療法」に関する情報を得て、役に立った経験がありますか。

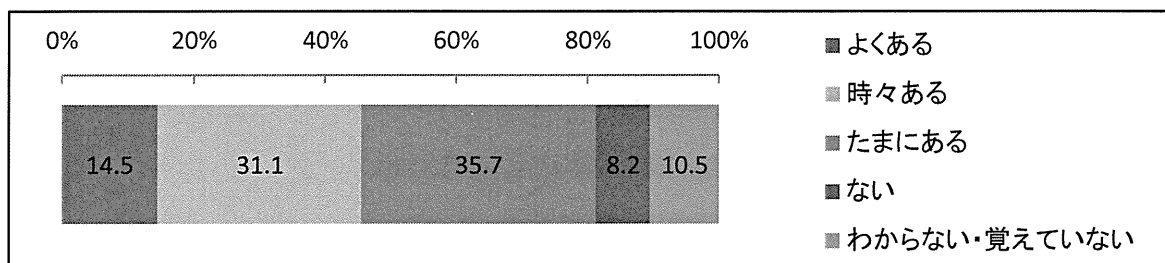
注:「インターネットで病気・治療法情報を見ない人」は非回答

多くの人がインターネット上での「病気」「治療法」情報を実際に役立てていた。(合計81%)

性別では女性の方が、また年代別では若い人の方が、活用度が高い(もしくは、実用的な情報を見つけるのが上手い)。家族の「大きな病気」の経験があると情報が役立った経験があると回答している頻度が高く、家族のために役立てることが多い様子が伺える。

(以上の記載について、統計学的有意差の有無については未検討)

よくある	123	14.5%
時々ある	263	31.1%
たまにある	302	35.7%
ない	69	8.2%
わからない・覚えていない	89	10.5%
計	846	100.0%



【別図6 インターネットで収集した「病気」「治療法」に関する情報の有用性(全体)】